

ため池が守る ため池を守る

～「世界農業遺産」登録を受け、
ため池の重要性を確認する～

国連食糧農業機関（FAO）が世界農業遺産に認定した「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島宇佐の農林水産循環」。

先人たちは複数のため池を連携させた
用水供給システムを確立し、それは現在
でもしっかりと守り続けられている。

国東市に存在する多くのため池。その歴史と重要性を探ってみた。

高雄池（国東町綱井）

● 水資源の確保 ●

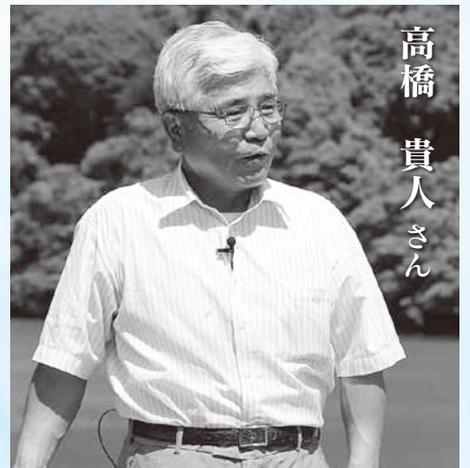
「ため池なくしては、地区の生活は成り立ちません。」と、高雄池を見つめながら話す高橋貴人さん。国東町綱井在住で、くにさき史談会に所属し長年、ため池の歴史を調べています。「世界農業遺産登録を受け、ため池の重要性を再認識してほしい。」と言います。

国東町綱井地区には6カ所にため池があり、そのうち上流に位置する高雄池は、有効貯水量6万3千³m³で地区では最も大きく重要なため池です。1778年、この高雄池の発起と設計に携わった人物が、庄屋の萱嶋信任氏です。綱井に水を確保したいという住民の強い思いを受けて、彼はわずか15歳のときに高雄池の築造を始めました。完成までの5年間、全身全霊を捧げたと伝えられています。

「高雄池のおかげで、綱井は大きく栄えました。萱嶋氏の庄屋跡近くと高雄池のほとりには功績をたたえる石碑が建てられ、毎年7月1日に地区住民が感謝祭を行っています。」と高橋さん。

雨量の少ない国東半島地域で米作りに適するだけの水を確保するため、国東市内には300近くのため

高橋 貴人さん



池と用水路が造られたのです。

● ため池は宝 ●

高雄池の水は、用水路を経由して下流の古池と美迫池の2カ所に直接補水されます。特に旭日小学校の隣にある美迫池には、道路脇と山中を抜ける「新池下り」と呼ばれる長い用水路によって結ばれています。また古池の水は周辺の水田に供給する一方、「古池下り」と呼ばれる用水路によって美迫池にも補水される仕組みになっています。美迫池は周辺の水田と下流の平尾池と迫池に補水します。高雄池の樋（水門）は区の当役が管理し、それぞれの池には水位や樋を管理する池守と用水を管理する水守がいます。天候や水田の状況を判断しながら適正管理をし